

■マイコミ学生就職モニター 10卒版■

第 10 回 : 7 月 中 の 就 職 活 動 状 況

株式会社 毎日コミュニケーションズ
就職情報事業本部
事業推進部 事業推進課

- 内容 : 就職活動状況の定点調査
- 実施期間 : 2009年7月27日～2009年8月2日まで
- 調査対象 : 2010年卒業予定の全国大学4年生及び院2年生
- 調査方法 : Web上のアンケートフォームより入力

□モニター属性データ

カテゴリー	登録数	回答数	有効回答率
文系男子	1,000	168	16.8%
理系男子	1,000	209	20.9%
文系女子	1,000	212	21.2%
理系女子	1,000	223	22.3%
総計	4,000	812	20.3%

- * 文系グループ1: 全国旧帝大
- * 文系グループ2: 早・慶・上智・ICU・関西・関学・同・立・西南
- * 文系グループ3: 法政・明治・立教・青学・中央
・学習院・全国国公立
- * 文系グループ4: 上記以外の全国私大

文系グループ1	175	47	26.9%
文系グループ2	444	86	19.4%
文系グループ3	508	107	21.1%
文系グループ4	873	140	16.0%
理系: 機電情報系	516	115	22.3%
理系: 土木・建築系	153	24	15.7%
理系: 化学系	422	107	25.4%
理系: その他理系	909	186	20.5%

関東地区	1,752	337	19.2%
関西地区	1,023	203	19.8%
東海地区	339	67	19.8%
上記以外のエリア	886	205	23.1%

■INDEX
【定点調査】

1: 内々定保有状況	1P
2: 内々定保有学生×就職活動終了	2P
3: 内々定保有学生×就職活動継続中、未内定学生	3P
4: 内々定フォロー	4P
5: 社会人になるにあたって	5P
6: 就職活動を振り返って	7P
付録: 漢字一文字	10P

マイコミ就職モニターの集計結果をはじめ
各種調査結果はWeb上でも
順次公開しております。
↓ ↓
【新卒採用人事担当者のための採用支援サイト
: 採用サポネット】

<http://saponet.mynavi.jp/>

■日本資料について■

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。
資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。

株式会社 毎日コミュニケーションズ 就職情報事業本部 事業推進部 事業推進課 水上
TEL: 03 (6267) 4571/FAX: 03 (6267) 4016/E-mail: kikaku@mycom.co.jp

7月の動きは

【内々定保有率76.0%。確定内々定率67.5%】

内々定保有率前年比11.0ptの減少。

「内定先を決めて就職活動を終了した」と回答する学生は67.5%。平均内定保有社数は1.71社。

■内々定保有率76.0% 前年比11.0ptの減少

7月の内々定保有率は全体で76.0%と、前年比11.0ptの減少となった。文理男女別で見ると、文系女子、理系女子の減少幅が大きい事が分かる。また、月別の内々定保有状況では、4月・5月をピークに、その後緩やかに数値を伸ばしたが、前年、一昨年と比較すると、数値自体がここ数年に比べ大きく減少している。

確定内々定状況(内定先を決めて就職活動を終了した)は67.5%と、前年比10.1ptの減少となった。一方、内々定を保有し活動を継続する割合は8.5%、前年比0.9ptの減少という結果となった。今年の内々定保有率は前年より低いものの、内々定先にこだわって活動を継続する割合は横ばいになった。

■内々定保有×活動継続学生・未内定学生 今後の活動のポイントは「仕事のやりがい」「勤務地」

今後の活動スタイルについては、「秋採用の情報が出るのを待つ」が内々定、未内定ともに一番高い割合になっている。今後の活動でこだわるポイントについて、「仕事のやりがい」、「勤務地」、「給与・待遇」の割合が高くなった。就職活動が後半になると企業選びの軸はこのような項目をポイントとしていることが窺える。

また、未内定者の今後の活動状況では、「不満があっても内々定が出た段階で活動終了」が23.1%、「納得のいく企業から内々定が出るまで活動を続行」が49.2%となった。

■内々定保有×活動終了 入社予定先企業は「やりたい仕事ができる」

内々定保有者で活動を終了している学生に「入社予定先企業にあてはまるもの」を聞いたところ、全体で46.5%が「やりたい仕事ができる」企業だと回答した。文理男女別にみても、「やりたい仕事ができる」企業が約40%以上、特に男子では50%を超える割合であった。比較的男子の方が、「やりたい仕事ができる」という軸を持って、入社予定先企業を決めている傾向が強いようだ。

重複した内々定を辞退する方法について聞いたところ、「電話」が最も多く75.1%となった。断るまでの期間は「2週間～1か月」が22.8%と最も多いゾーンになった。企業の内々定承諾期間にもよるが、おおむね学生からは1か月以内に結論を伝える傾向にある。

■内々定フォロー

7月末までの段階で内々定を保有している学生に、内々定後企業と接触を持ったか聞いたところ、61.9%が「はい(接触した)」と回答した。昨年(6月調査)の73.1%より11.2pt減少した。内々定保有率の減少とともに、接触回数も今年は大きく減少している。

接触回数を「直接会う」と「メールや電話等」で比較した。「直接会う」回数としては「1回」が42.9%で最も多くなった。一方の「メールや電話等」は4回以上が42.7%と最も多くなった。

どのような内定者フォローを受けたか聞いたところ、「食事会」52.3%、「先輩社員との懇親会」が49.7%となった。また、学生が今後受きたいフォローでも、「食事会」や「先輩社員との懇親会」が多くなった。一方、「勉強会・グループワーク・研修」の割合も高く、勉強会やグループワーク・研修を通じた内定者同志の交流を図るコンテンツなども学生から支持されるフォローのひとつかもしれない。

■社会人になるにあたっての不安 入社後受きたい研修内容は「ビジネスコミュニケーション」

入社したらどんな仕事をしたいか聞いたところ、「自分が何かを達成したと感ぜられる仕事がしたい」46.8%、次いで、「人の役に立てる仕事をしたい」46.6%となった。また、社会人になるにあたって「不安」があるか聞いたところ、「職場での人間関係」や「仕事をうまく進められるか」、「会社のルールや組織・風土になじめるか」、「自由な時間が十分にとれるか」など様々な不安を抱えている。さらに、入社前に集合研修を受けたいか聞いたところ、70.6%が受けたいと回答(前年比4.3pt増)。入社後、新入社員研修で受けたいコンテンツは何か聞いたところ、「ビジネスコミュニケーション」「ビジネスマナー」といった項目が文理男女各カテゴリーで高い割合となった。

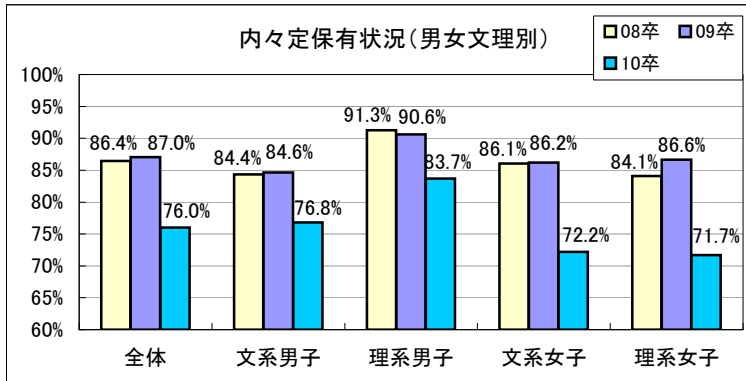
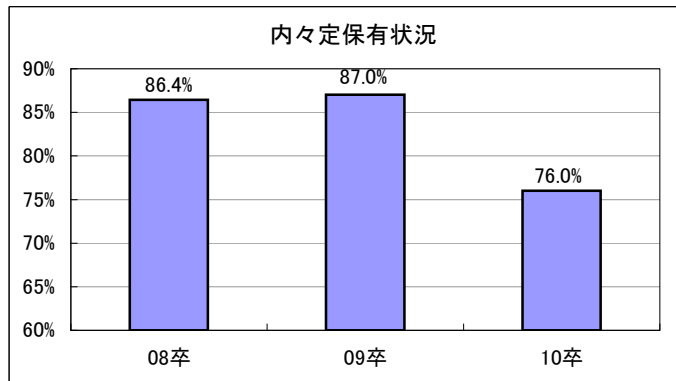
今後は、学生の抱えている「不安」や「受けたい研修内容」に留意し、社会人になるまでのフォロー体制を考えていくことも必要になってくるだろう。

■就職活動の満足度 内々定貰えず体力・精神ともに消耗

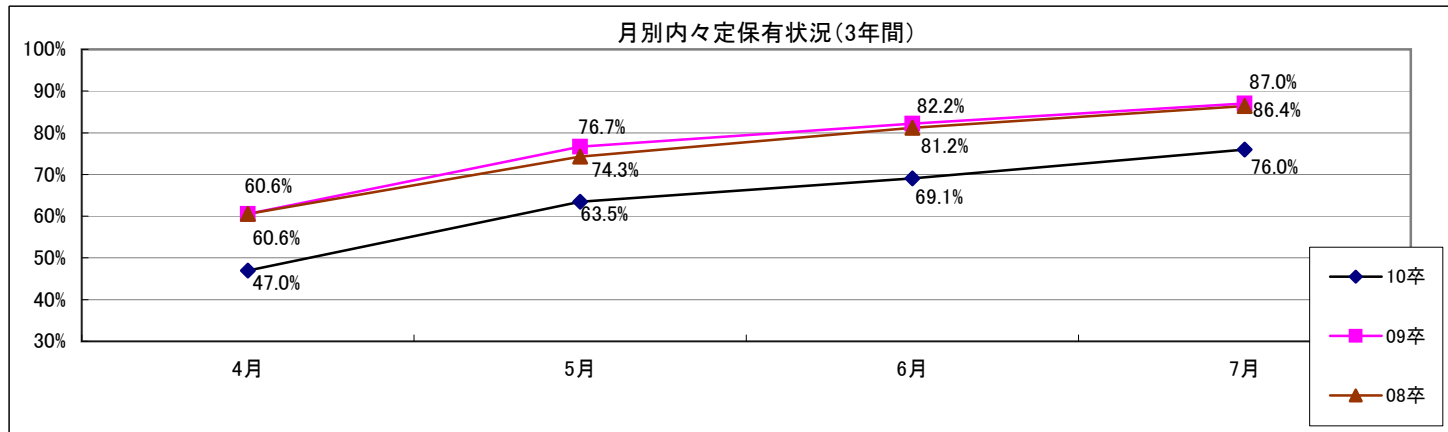
就職活動の満足度を聞いたところ「非常に満足している+まあまあ満足している」が67.2%となり、前年の80.2%より13.0pt減少した。満足している理由を聞いたところ、「志望企業に内定したから」が56.0%と最も多い。一方で満足していない理由では「志望企業に内定しなかったから」が57.5%と最も高く、前年比13.2pt増加している。また、今年の特徴として、「体力・精神ともに消耗したから」が39.8%、前年比16.0pt増加している。「志望企業に内定しない」「体力・精神ともに消耗した」といった感触からも今年の就職環境の厳しさが窺える。

■1:内々定保有状況

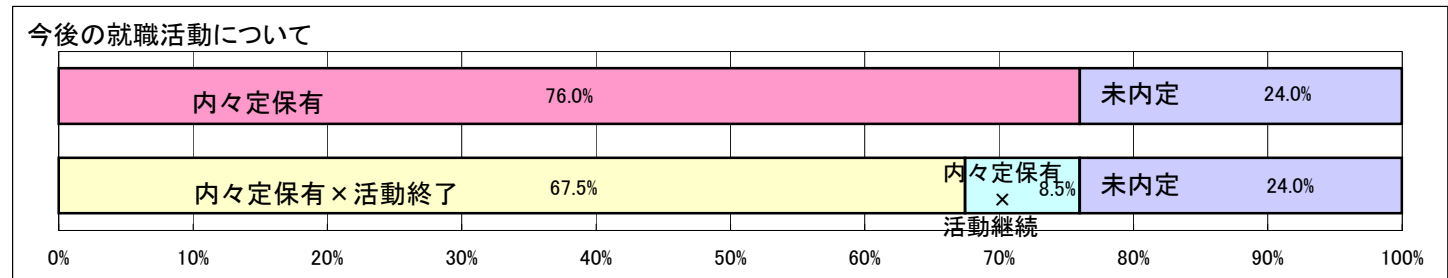
【1】内々定保有状況



【2】月別内々定保有状況



【3】今後の就職活動について(内々定保有者のみ)



【4】確定内々定率

【5】何社内々定を受けましたか？(内々定保有者のみ)

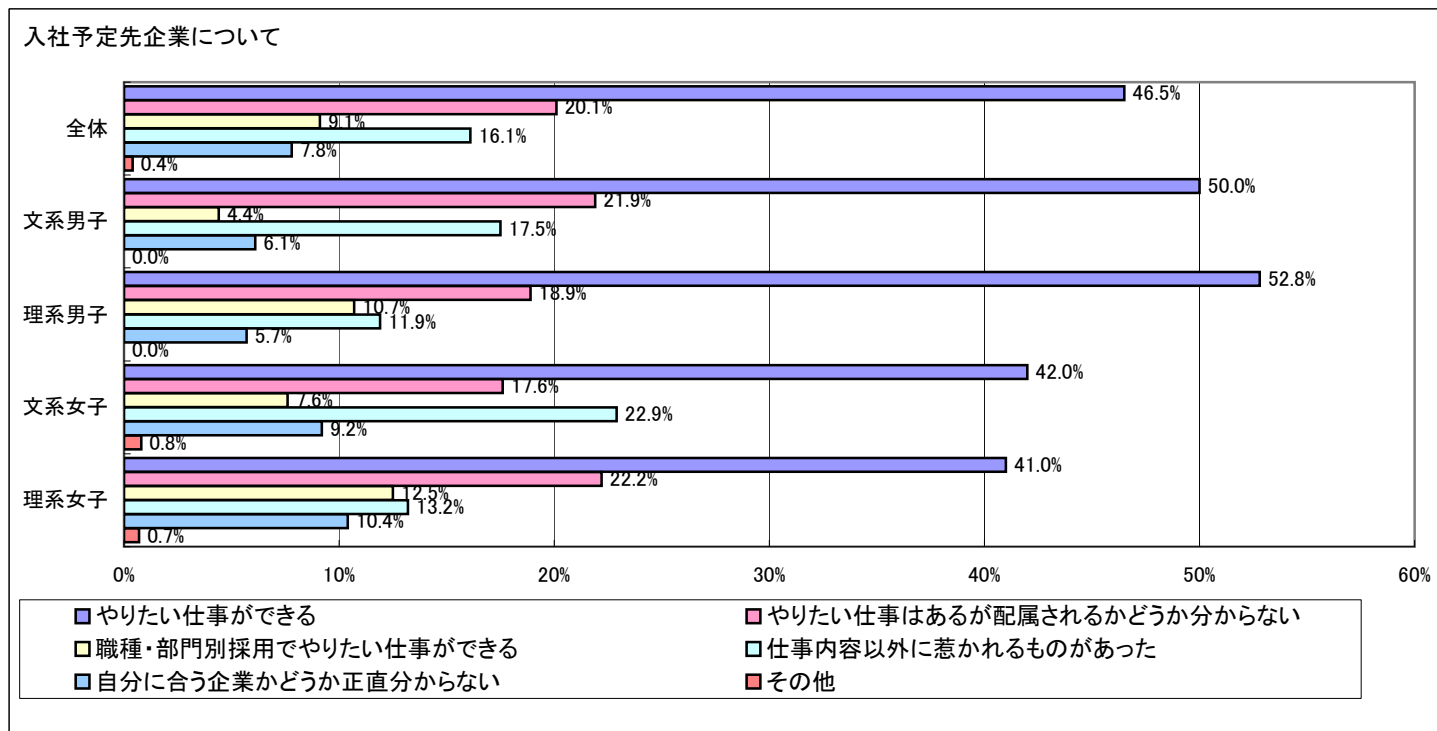
	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子		全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子
10卒	67.5%	67.9%	76.1%	61.8%	64.5%	10卒平均社数	1.71	1.85	1.61	1.75	1.66
09卒	77.6%	73.4%	85.4%	75.7%	76.0%	09卒	2.40	2.30	2.32	2.13	2.82
参考: 10卒6月	58.5%	54.6%	67.3%	52.9%	59.3%	参考: 10卒6月	1.69	1.83	1.55	1.78	1.63
10卒5月	49.3%	49.2%	59.0%	38.9%	50.4%	前年比	-0.69	-0.45	-0.71	-0.38	-1.16
10卒4月	29.9%	32.4%	36.6%	22.8%	28.1%						
前年比	-10.1%	-5.5%	-9.3%	-13.9%	-11.5%						

7月の内々定保有率は全体で76.0%と、前年比11.0ptの減少となった。文理男女別で見ると、文系女子、理系女子の減少幅が大きい事が分かる。また、月別の内々定保有状況では、4月・5月をピークに、その後緩やかに数値を伸ばしたが、前年、一昨年と比較すると、数値自体がここ数年に比べ大きく減少している。

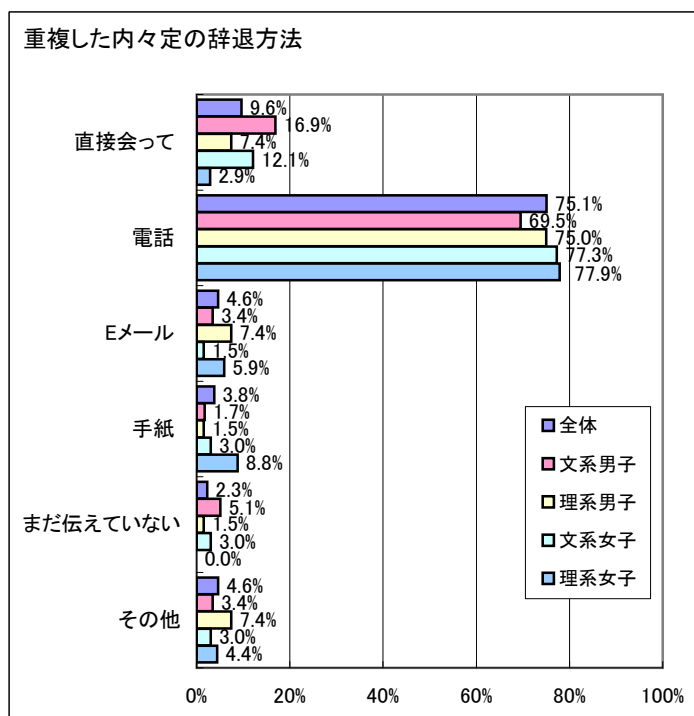
確定内々定状況(内定先を決めて就職活動を終了した)は67.5%と、前年比10.1ptの減少となった。一方、内々定を保有し活動を継続する割合は8.5%、前年比0.9ptの減少という結果となった。今年の内々定保有率は前年より低いものの、内々定先にこだわって活動を継続する割合は横ばいになった。

■2:内々定保有学生×就職活動終了

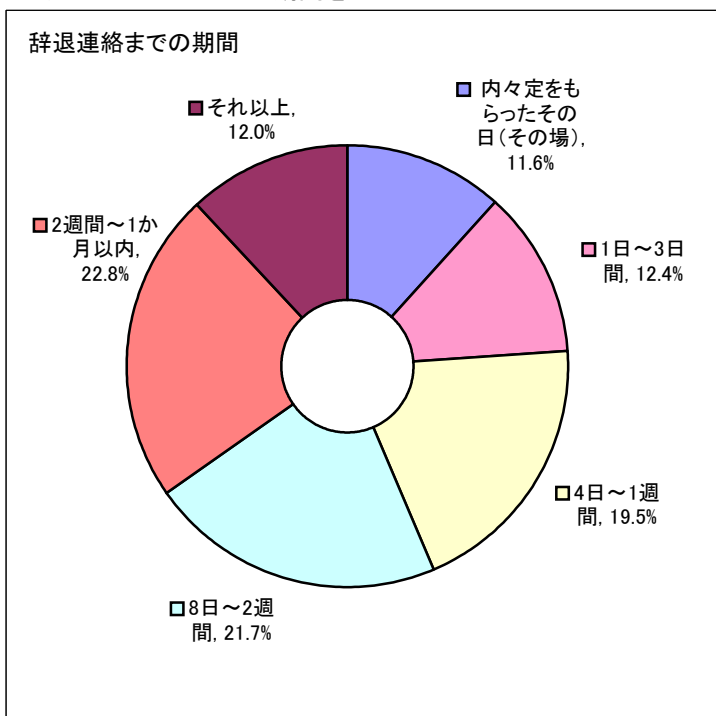
【1】入社予定先企業にあてはまるものは何ですか？



【2】重複した内々定は主にどのような方法で断りましたか？



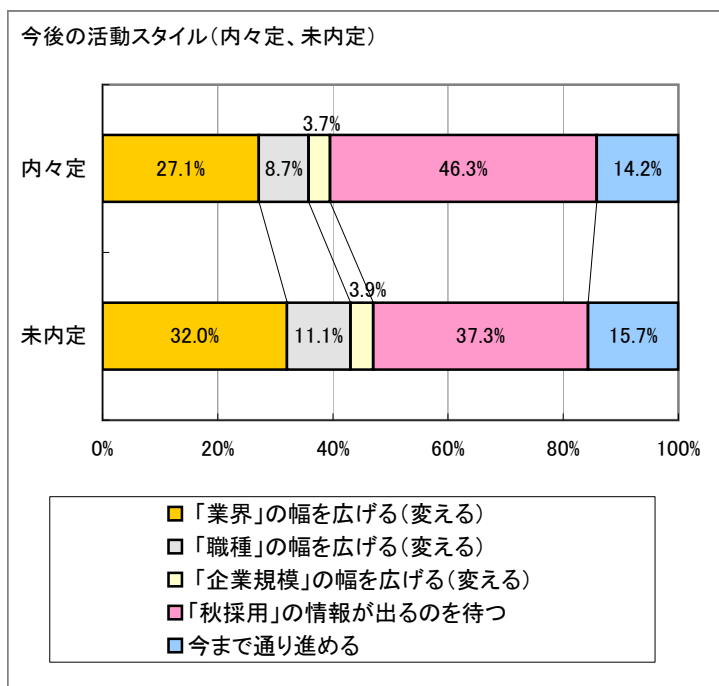
【3】本命以外の企業から内々定をもらった場合、断るまでのどのくらいの期間をおきましたか？



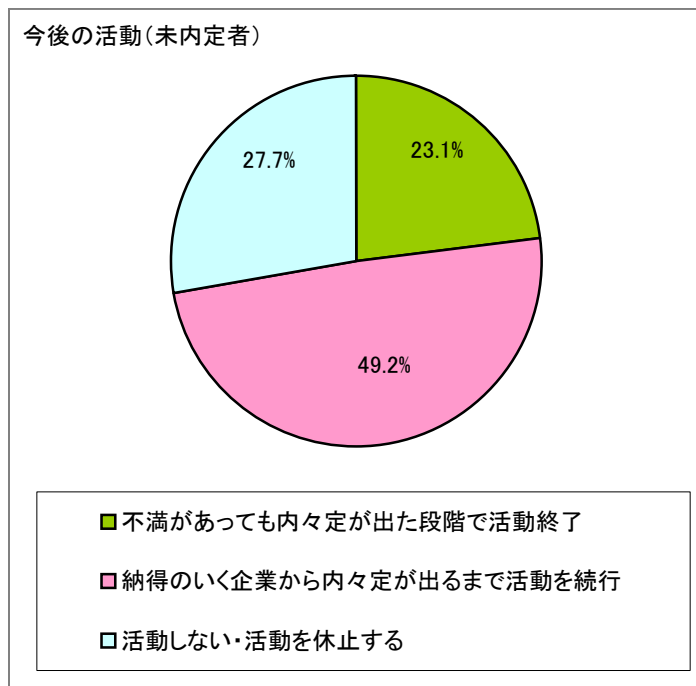
内々定保有者で活動を終了している学生に「入社予定先企業にあてはまるもの」を聞いたところ、全体で46.5%が「やりたい仕事ができる」企業だと回答した。文理男女別にみても、「やりたい仕事ができる」企業が約40%以上、特に男子では50%を超える割合であった。比較的男子の方が、「やりたい仕事ができる」という軸を持って、入社予定先企業を決めている傾向が強いようだ。重複した内々定を辞退する方法について聞いたところ、「電話」が最も多く75.1%となった。断るまでの期間は「2週間～1か月」が22.8%と最も多いゾーンになった。企業の内々定承諾期間にもよるが、おおむね学生からは1か月以内になにかしらの結論を伝える傾向にある。

■3: 内々定保有学生×就職活動継続中、未内定学生

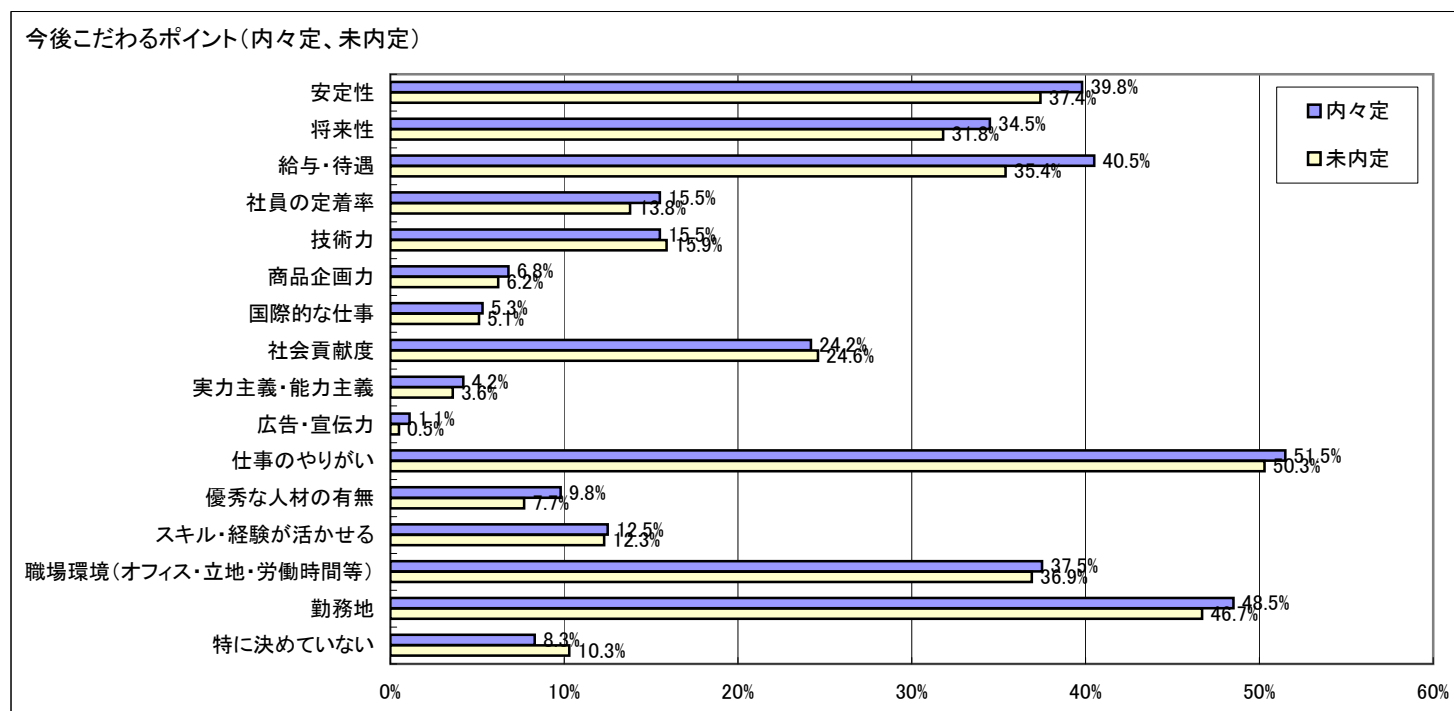
【1】今後の活動スタイルはどうしますか？



【3】今後の活動について



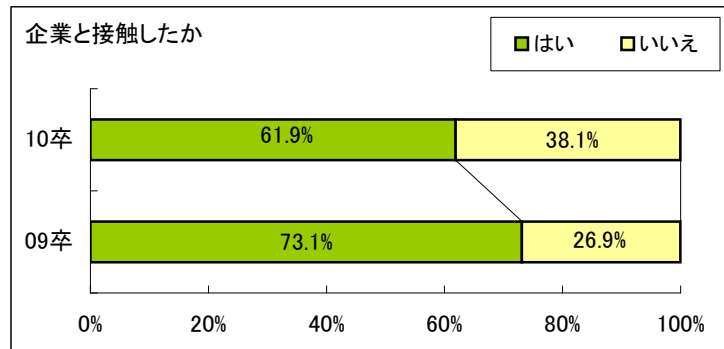
【2】今後の活動においてこだわるポイントは何ですか？(複数回答)



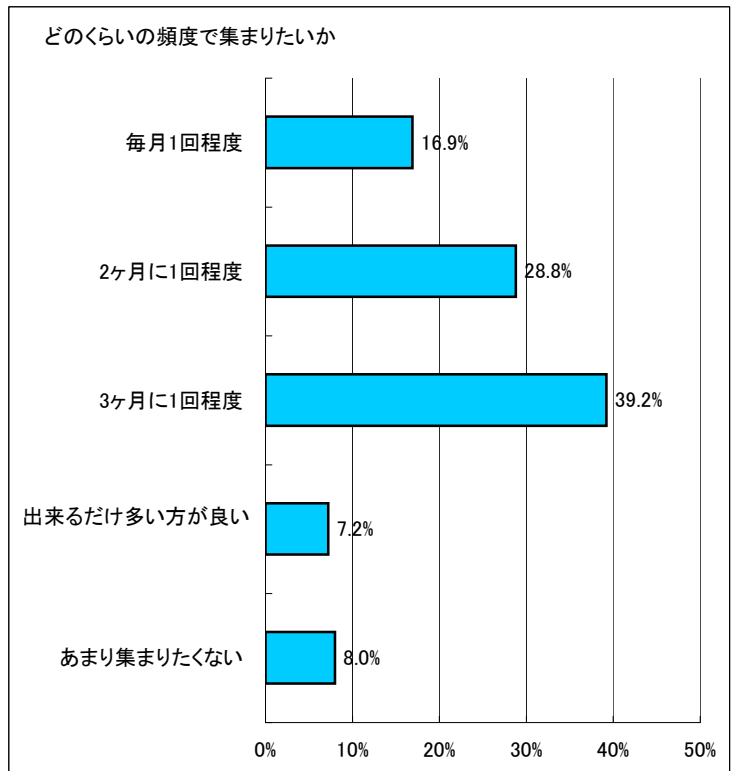
今後の活動スタイルについては、「秋採用の情報が出来るのを待つ」が内々定、未内定ともに一番高い割合になっている。今後の活動でこだわるポイントについて、「仕事のやりがい」、「勤務地」、「給与・待遇」の割合が高くなった。就職活動が後半になると企業選びの軸はこのような項目をポイントとしていることが窺える。
また、未内定者の今後の活動状況では、「不満があっても内々定が出た段階で活動終了」が23.1%、「納得のいく企業から内々定が出るまで活動を続行」が49.2%となった。

■4: 内々定フォローについて

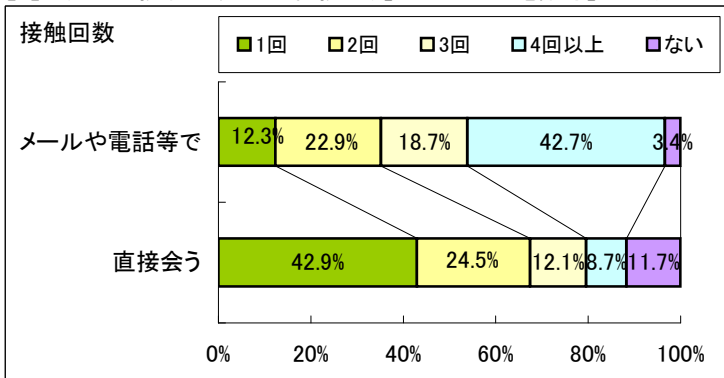
【1】今までに内々定先企業と内々定をもらったあとに
何らかの接触を持ちましたか？



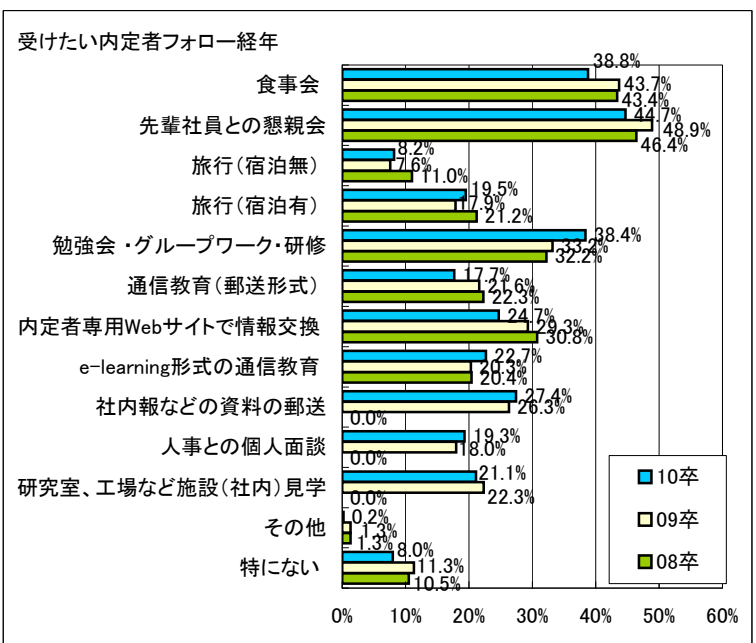
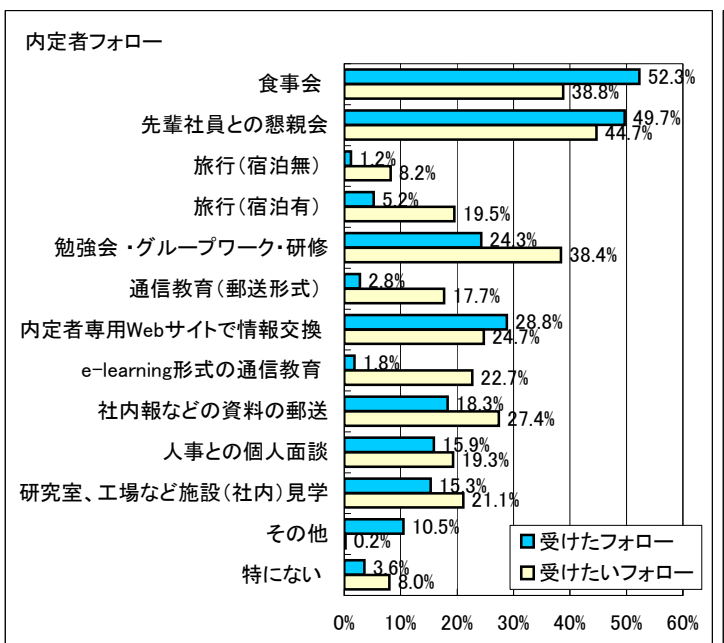
【5】今後、卒業までに内定者の集まりは
どのくらいの頻度であつたらよいと思いますか？



【2】内定後の接触回数は？「直接会う」と「メールや電話等」の比較



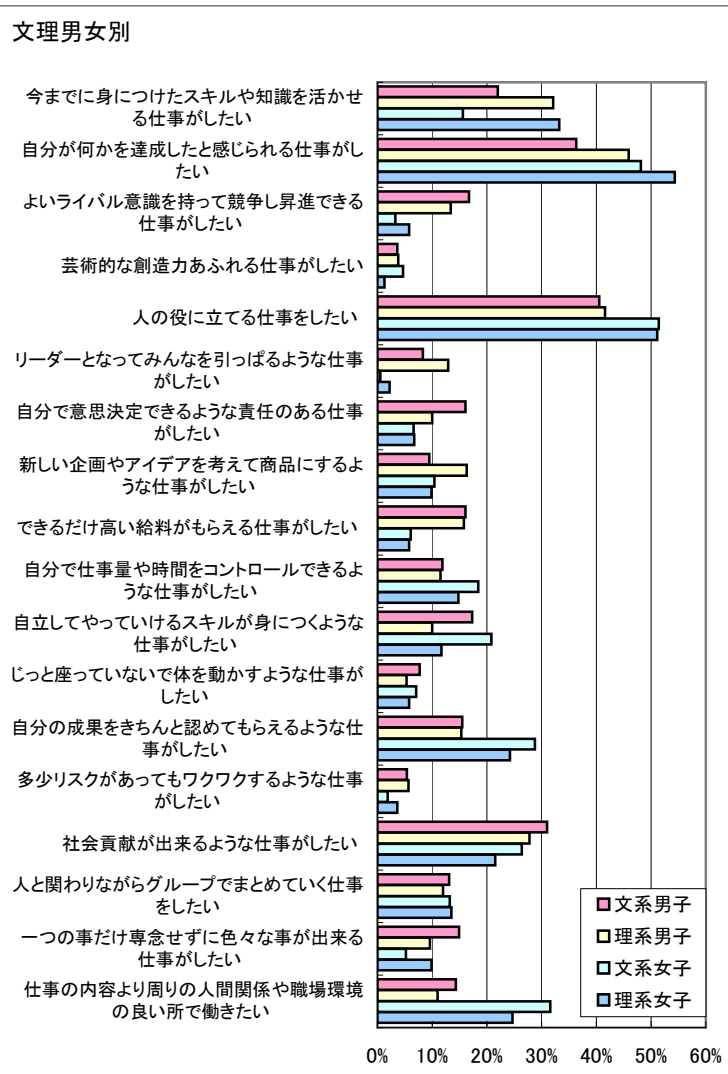
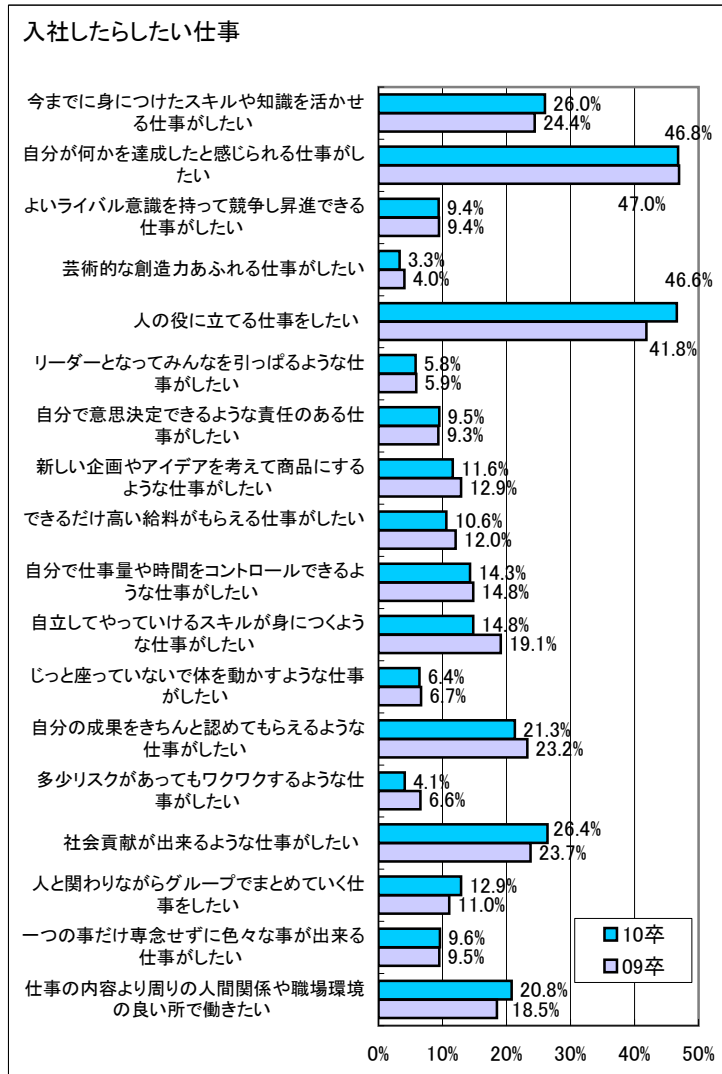
【3】【4】どのような内定者フォローを受けていますか？
また、今後受けたいと思いますか？(複数回答)



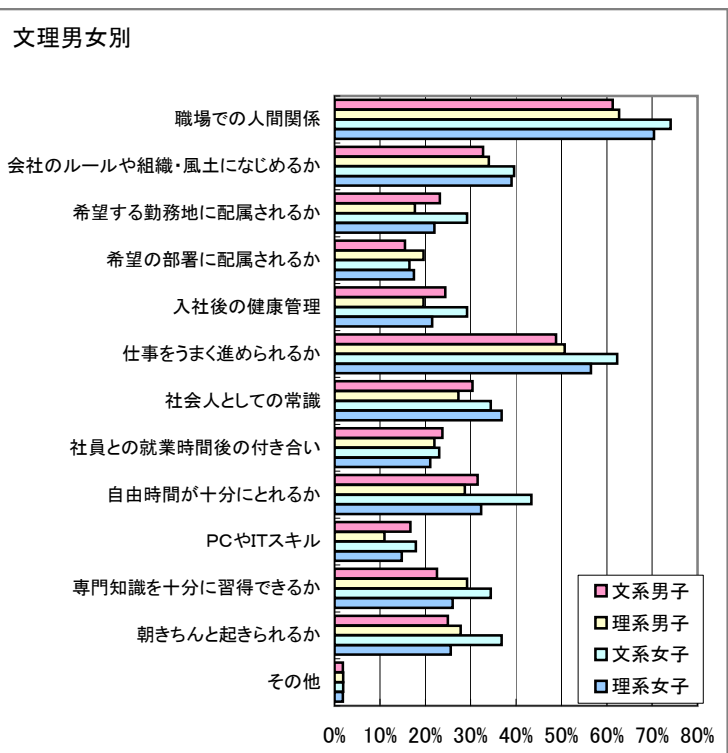
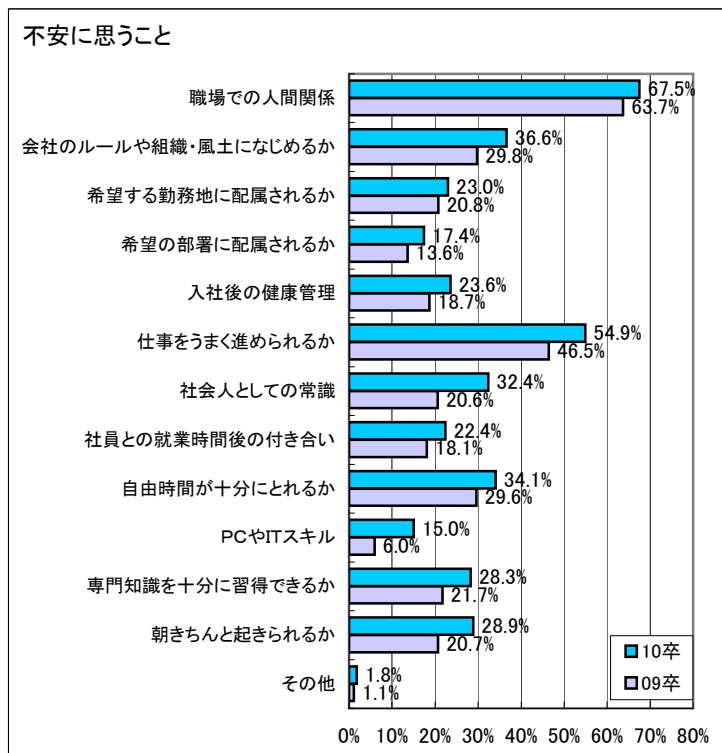
7月末までの段階で内々定を保有している学生に、内々定後企業と接触を持ったか聞いたところ、61.9%が「はい(接触した)」と回答し、昨年(6月調査)の73.1%より11.2pt減少した。内々定保有率の減少とともに、接触回数も今年は大きく減少している。接触回数を「直接会う」と「メールや電話等」で比較した。「直接会う」回数としては「1回」が42.9%で最も多くなった。一方の「メールや電話等で」は4回以上が42.7%と最も多くなった。どのような内定者フォローを受けたか聞いたところ、「食事会」52.3%、「先輩社員との懇親会」が49.7%となった。また、学生が今後受けたいフォローでも、「食事会」や「先輩社員との懇親会」が多くなった。一方、「勉強会・グループワーク・研修」の割合も高く、勉強会やグループワーク・研修を通じた内定者同志の交流を図るコンテンツなども学生から支持されるフォローのひとつかもしれない。

■5. 社会人になるにあたって

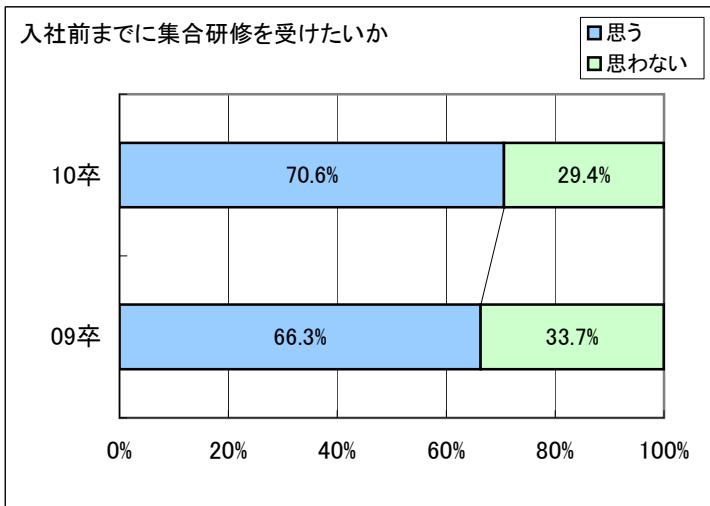
【1】入社したらどんな仕事をしたいですか？（優先度の高いもの3項目選択）



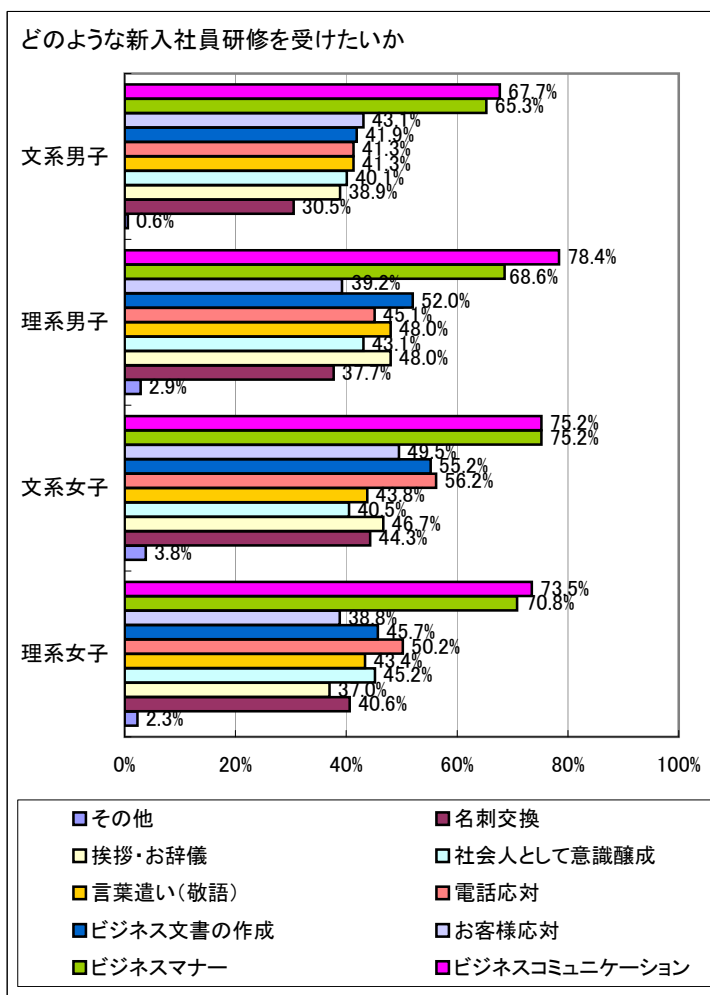
【2】社会人になるにあたって不安に思うことは何ですか？（複数回答）



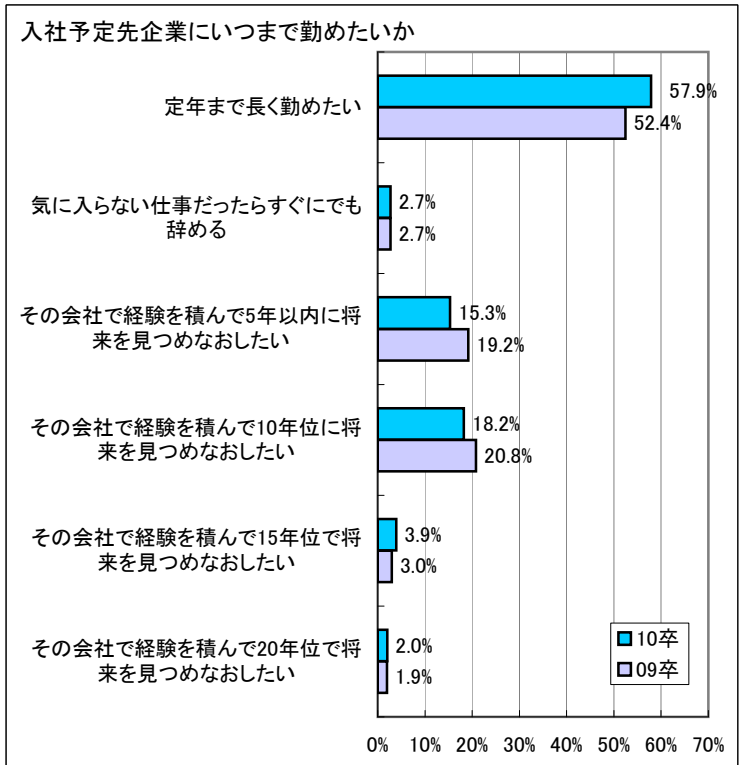
【3】入社までの半年間に集合研修を受けたいと思いますか？



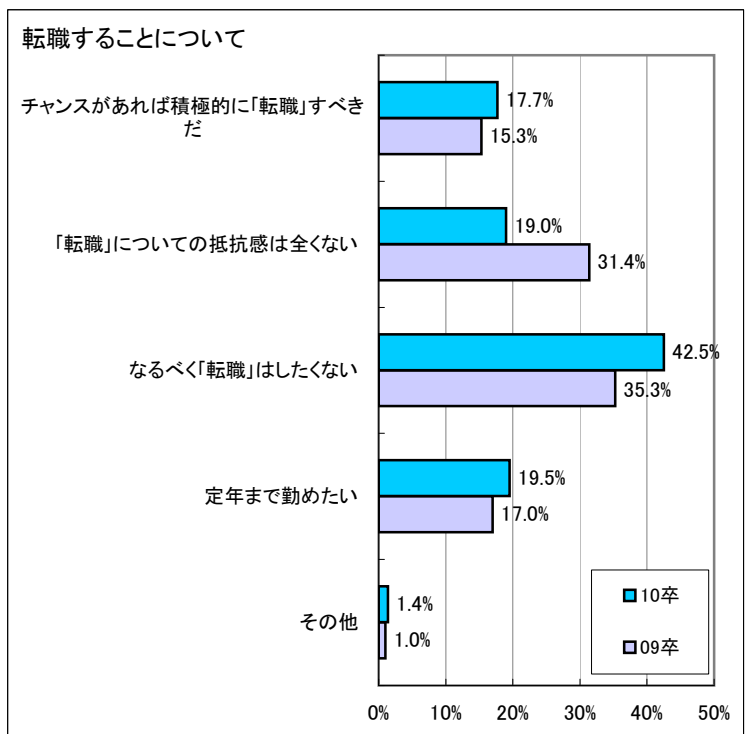
【4】どのような新入社員研修を受けたいと思いますか？



【5】入社予定先にいつまで勤めたいですか？



【6】転職することについてどのようにお考えですか？



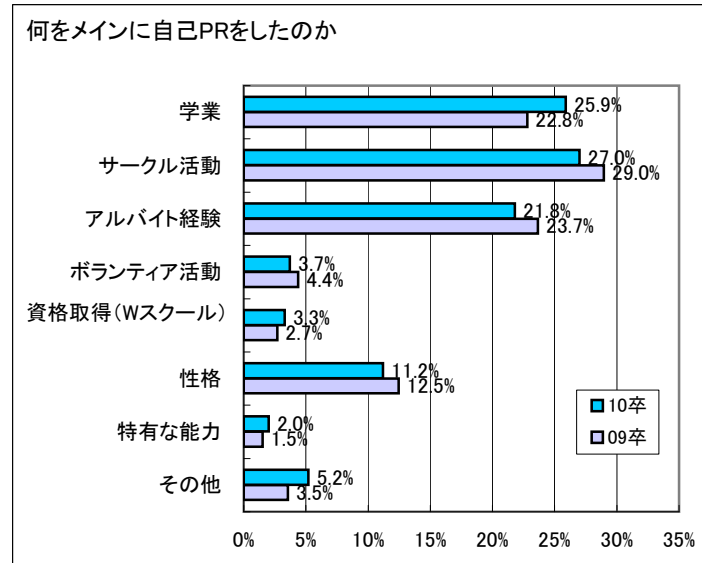
入社したらどんな仕事をしたいか聞いたところ、「自分が何かを達成したと感ぜられる仕事がしたい」46.8%、次いで、「人の役に立てる仕事をしたい」46.6%となった。また、社会人になるにあたって「不安」があるか聞いたところ、「職場での人間関係」や「仕事をうまく進められるか」、「会社のルールや組織・風土になじめるか」、「自由な時間が十分にとれるか」など様々な不安を抱えている。さらに、入社前に集合研修を受けたいか聞いたところ、70.6%が受けたいと回答(前年比4.3pt増)。入社後、新入社員研修で受けたいコンテンツは何か聞いたところ、「ビジネスコミュニケーション」「ビジネスマナー」といった項目が文理男女各カテゴリーで高い割合となった。

今後は、学生の抱えている「不安」や「受けたい研修内容」に留意し、社会人になるまでのフォロー体制を考えていくことも必要になってくるだろう。

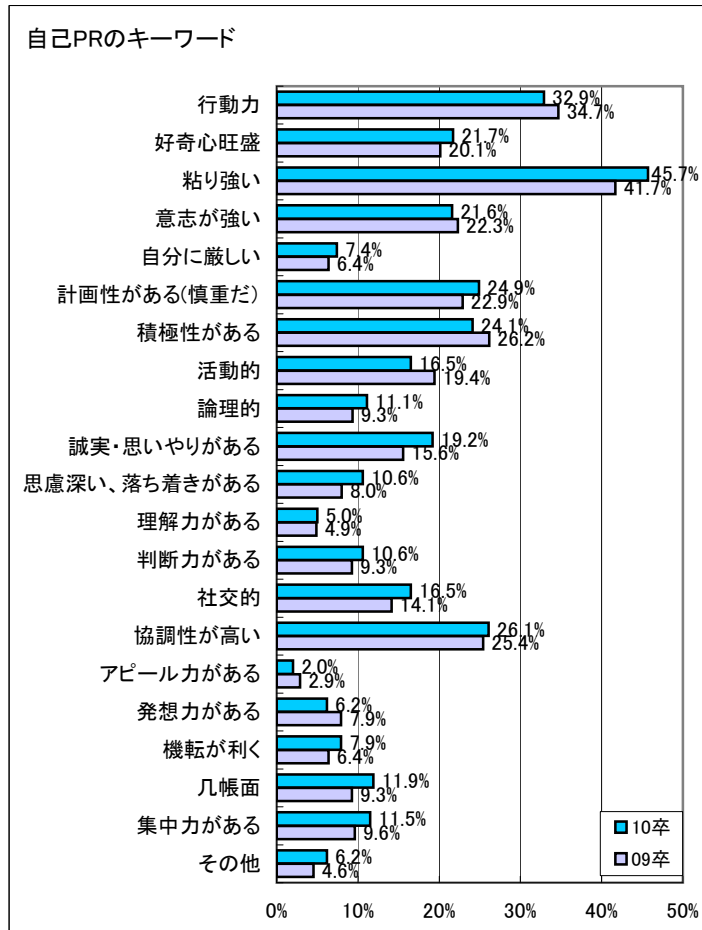
入社予定先にいつまで勤めたいか聞いたところ、「定年まで勤めたい」が57.9%前年比5.5pt増加した。また、「転職」について聞いたところ、「なるべく転職はしたくない」が42.5%、前年比7.2pt増加した。このような項目が増加したことから、今年は前年に比べ「ひとつの会社でなるべく転職はせず定年まで勤めたい」といった傾向にあるようだ。

■6. 就職活動を振り返って

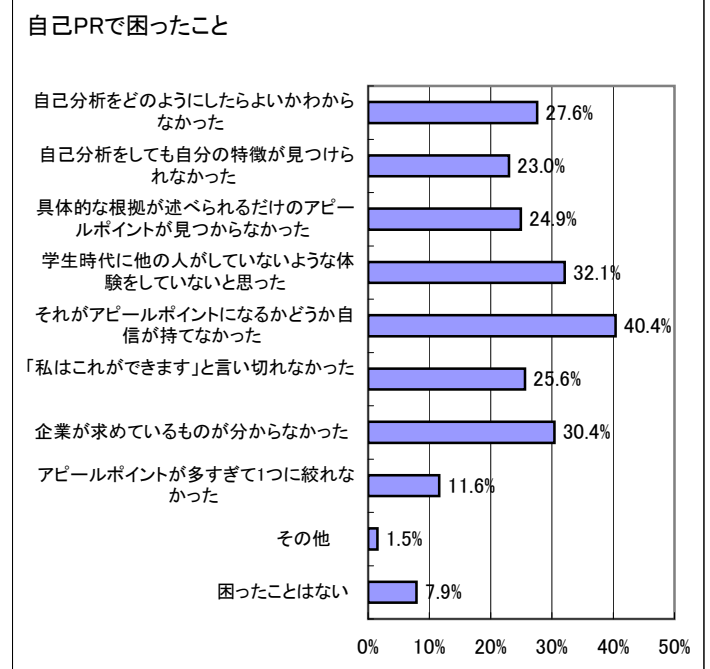
【1】自己PRの際、何をメインに行いましたか？



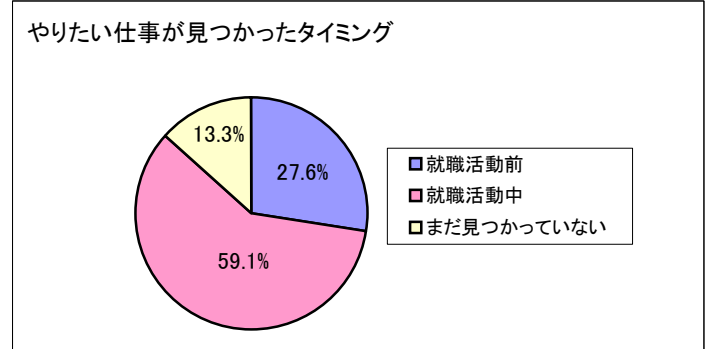
【2】自己PRでポイントとしたキーワードは何ですか？(複数回答)



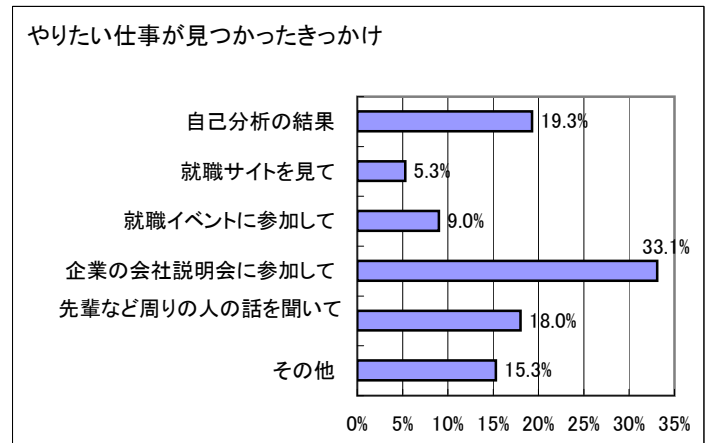
【3】自己PRの際、困ったことはありましたか？(複数回答)



【4】やりたい仕事が見つかったのはいつですか？

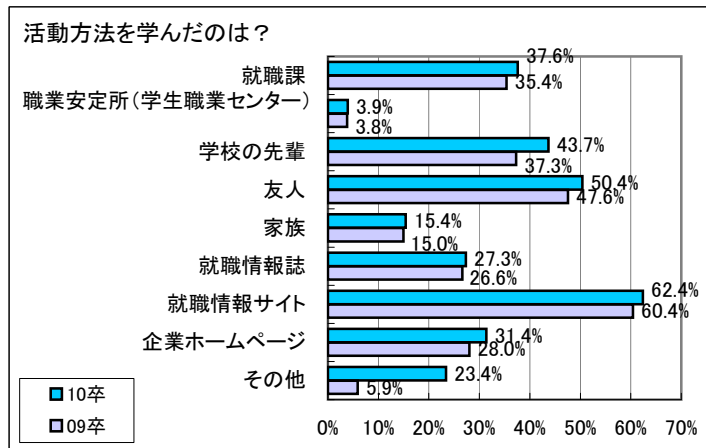


【5】やりたい仕事が見つかったきっかけは何ですか？

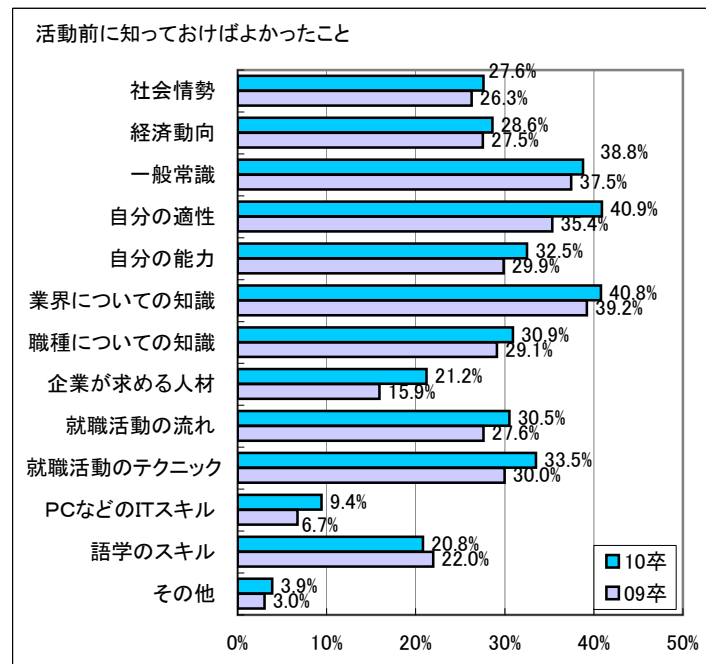


学生の就職活動を振り返った際、自己PRで何をメインに話したのか聞くと、「サークル活動」が27.0%、次いで「学業」25.9%となった。自己PRでポイントとしたキーワードでは、「粘り強い」45.7%、「行動力」32.9%、「協調性が高い」26.1%が挙げられた。やりたい仕事が見つかったタイミングを聞いたところ、半数以上の59.1%が「就職活動中」にみついているようだ。また、どのような状況で見つかったのか聞いたところ、「企業の会社説明会に参加して」が33.1%と最も多かった。

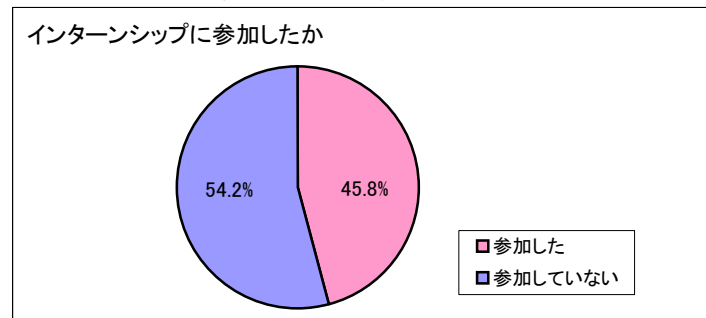
【6】活動方法を学んだ場所・人・ものは何ですか？（複数回答）



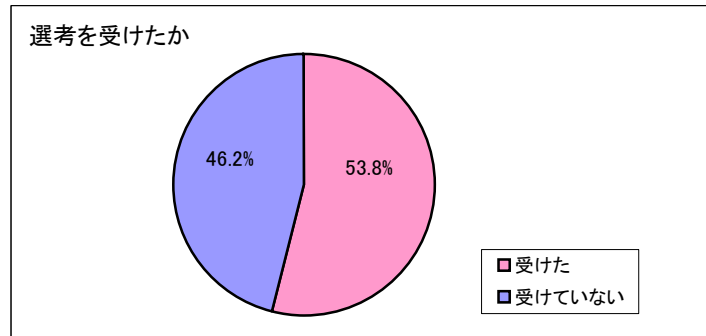
【7】就職活動を始めるまでに知っておけばよかったことはありますか？（複数回答）



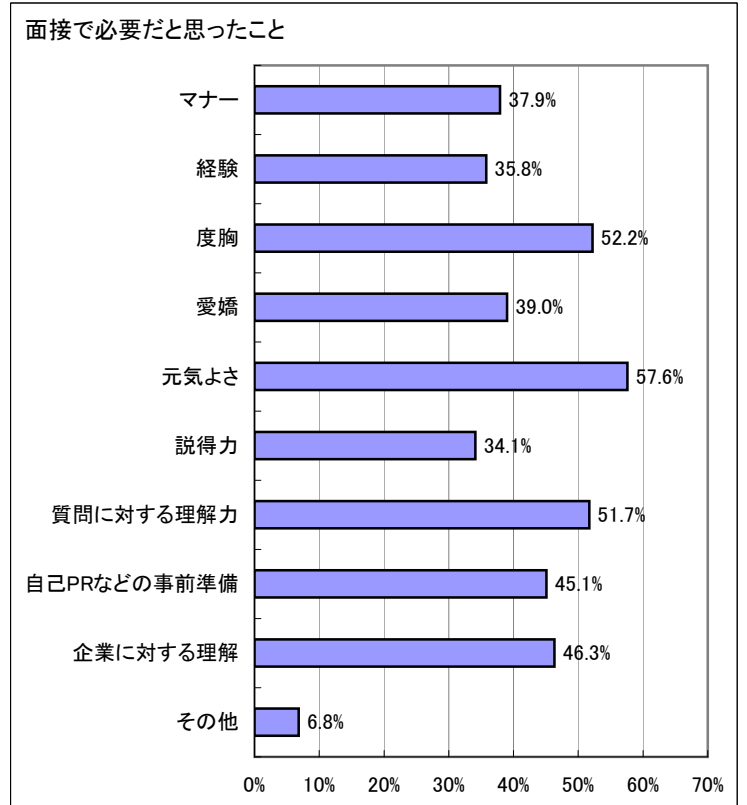
【8】これまでに企業(団体・自治体)が主催するインターンシップに参加したことがありますか？



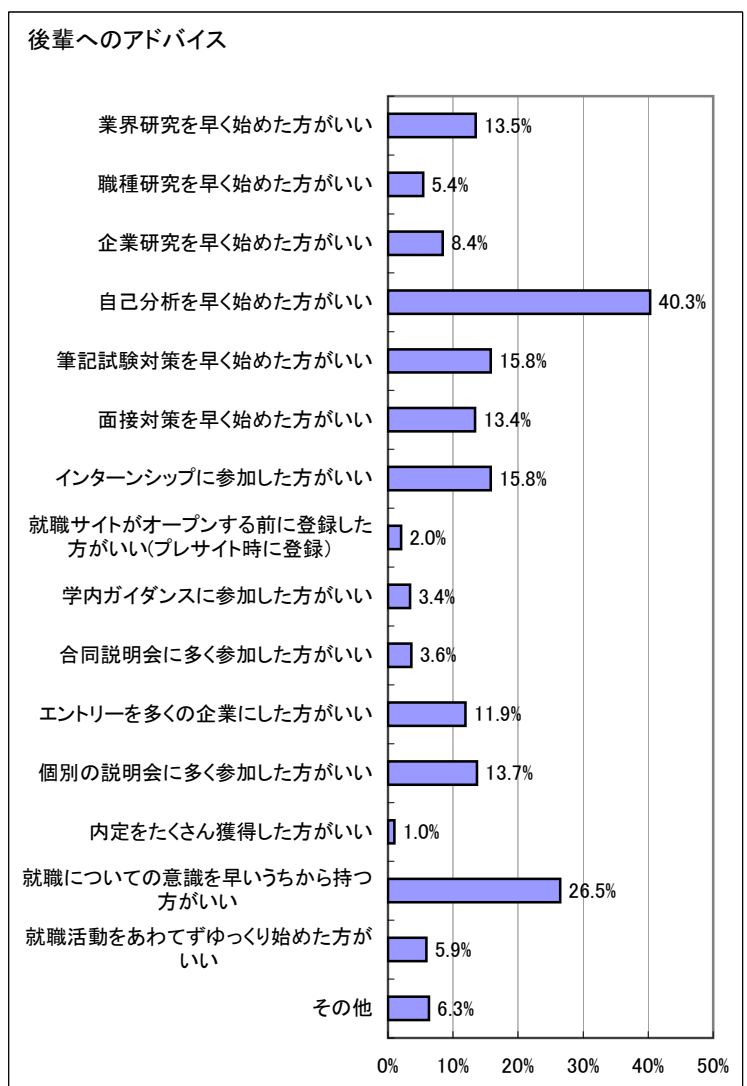
【9】インターンシップに参加した企業の選考を受けましたか？



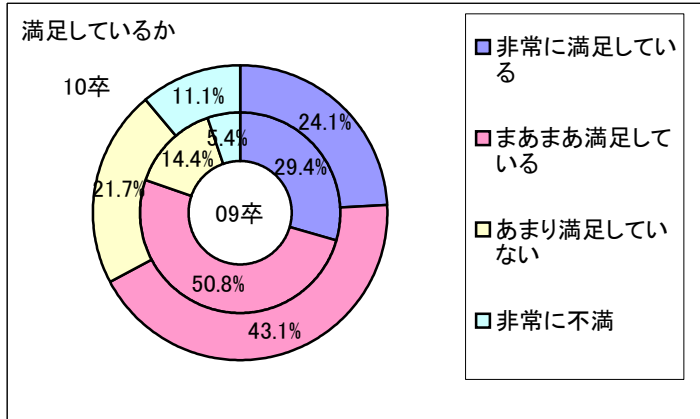
【10】面接に必要なと思ったことは何ですか？（複数回答）



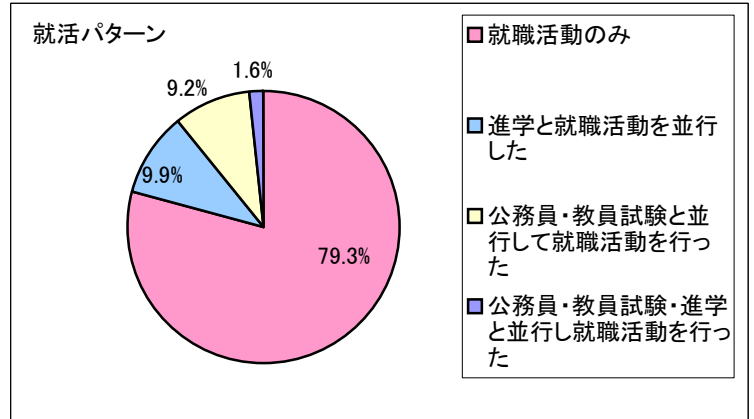
【11】後輩にアドバイスをするなら、どんなことをアドバイスしますか？（複数回答）



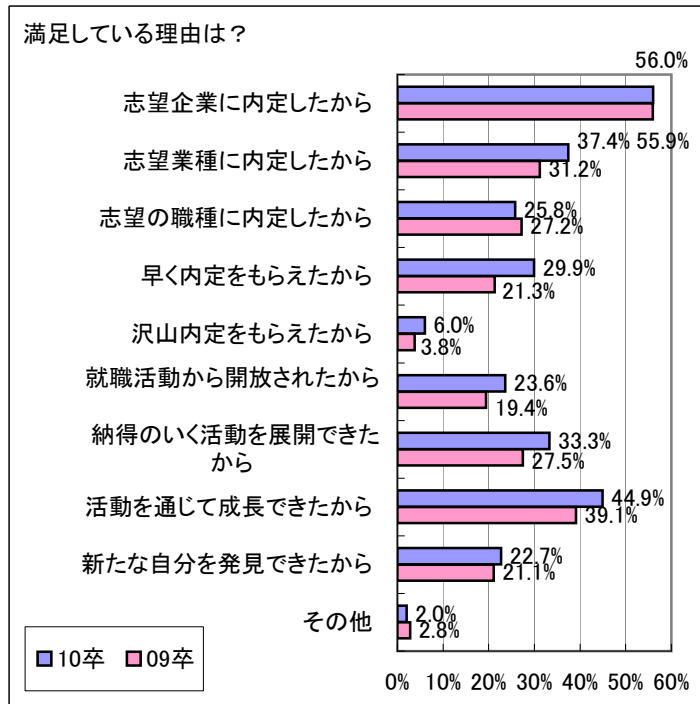
【12】自分の就職活動に満足していますか？



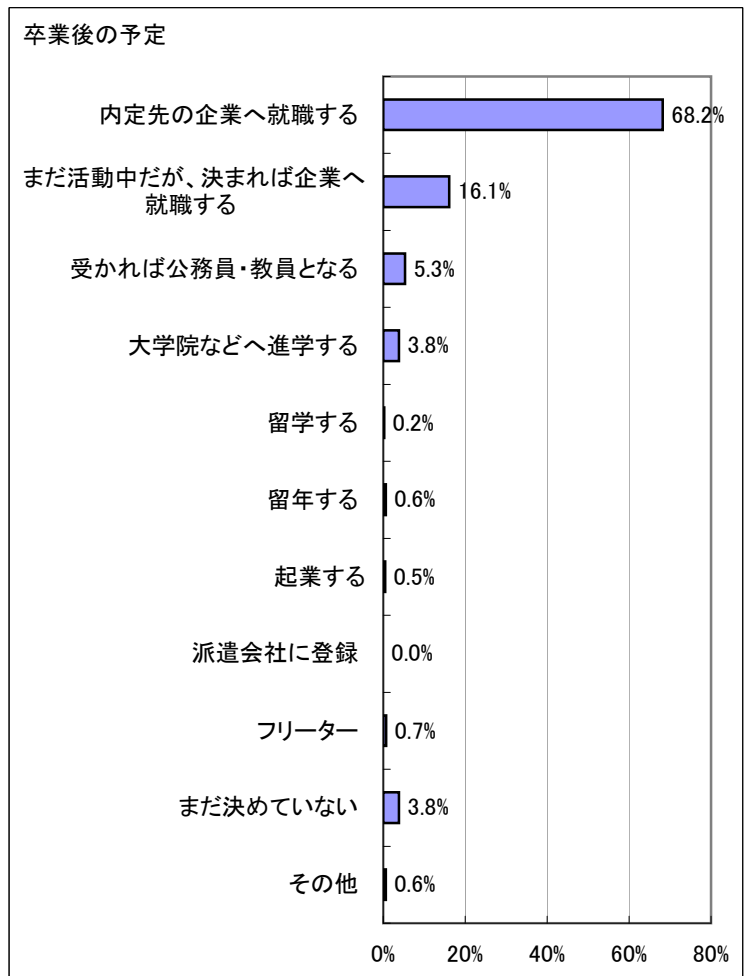
【15】これまでの就職活動のパターンはどれにあてはまりますか？



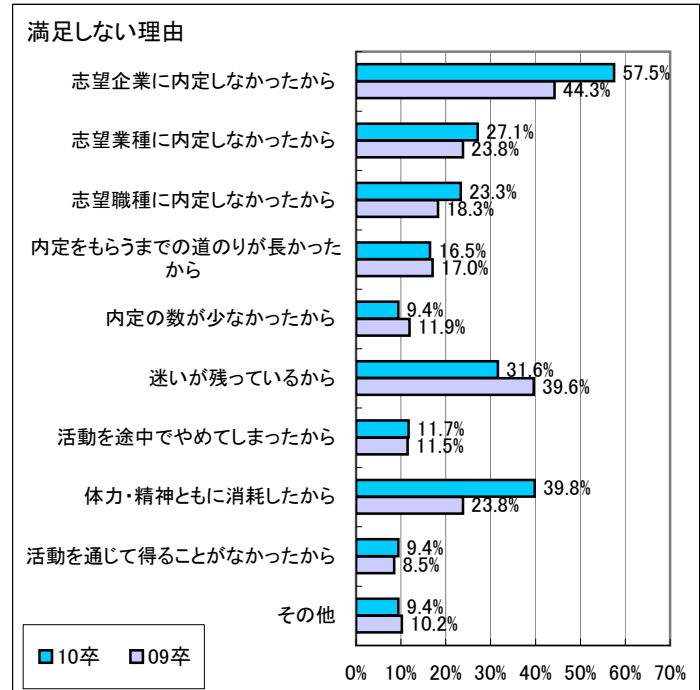
【13】(満足している)その理由としてあてはまるものは？(MA)



【16】現在の時点での卒業後の予定は？



【14】(満足していない)その理由としてあてはまるものは？(MA)



就職活動前に知っておけばよかったことを聞いたところ、「自分の適性」が40.9%、次いで「業界についての知識」40.8%、「一般常識」38.8%といった項目が続いた。就職活動の満足度を聞いたところ「非常に満足している+まあまあ満足している」が67.2%となり、前年の80.2%より13.0pt減少した。満足している理由を聞いたところ、「志望企業に内定したから」が56.0%と最も多い。一方で満足していない理由では「志望企業に内定しなかったから」が57.5%と最も高く、前年比13.2pt増加している。また、今年の特徴として、「体力・精神ともに消耗したから」が39.8%、前年比16.0pt増加している。「志望企業に内定しない」「体力・精神ともに消耗した」といった感触からも今年の就職環境の厳しさが窺える。

10卒(2009年) BEST10			文系男子		理系男子		文系女子		理系女子	
ランク	漢字	得票率	ランク	得票率	ランク	得票率	ランク	得票率	ランク	得票率
1	苦	6.9%	1	6.6%	1	5.8%	1	10.4%	2	5.0%
2	迷	4.6%	3	3.6%	2	4.8%	2	4.7%	2	5.0%
3	楽	3.2%	2	4.8%	4	2.9%	10	1.9%	4	3.6%
4	難	2.8%	18	1.2%	7	1.9%	10	1.9%	1	5.9%
5	縁	2.7%	8	2.4%	3	3.4%	4	2.8%	8	2.3%
6	動	2.6%	3	3.6%	6	2.4%	4	2.8%	13	1.8%
7	悩	2.4%	6	3.0%	20	1.0%	4	2.8%	7	2.7%
8	耐	2.1%	3	3.6%	20	1.0%	22	0.9%	6	3.2%
9	疲	2.0%	29	0.6%	20	1.0%	8	2.4%	4	3.6%
10	変	1.9%	8	2.4%	9	1.4%	13	1.4%	8	2.3%

「苦」が7年ぶりに総合1位になった。カテゴリー別に見ると、文系男子、理系男子、文系女子で1位になった。一方、5年連続1位だった「楽」は今年は3位にとどまった。トップ3以降は、票が分かれている。「縁」「動」といったプラスイメージの漢字や「難」「悩」「耐」「疲」といったマイナスイメージの漢字が名を連ねた。トップ10全体を見ると、今年の経済環境の変化など学生にとって厳しい就職環境を物語っていた気持ちが如実に表れた結果となった。

◆過去調査結果

09卒(2008年)			08卒(2007年)			07卒(2006年)			06卒(2005年)			05卒(2004年)		
1	楽	6.0%	1	楽	5.7%	1	楽	5.3%	1	楽	4.5%	1	楽	4.7%
2	迷	4.5%	2	苦	4.7%	2	迷	4.0%	2	耐	3.7%	2	迷	3.7%
3	苦	3.6%	3	迷	4.3%	3	動	3.2%	3	動	3.3%	3	苦	3.6%
4	動	2.6%	4	動	3.4%	4	縁	2.6%	4	迷	3.2%	4	耐	3.4%
5	学	2.4%	5	悩	2.9%	4	苦	2.6%	4	苦	3.2%	5	動	2.9%
6	難	2.3%	6	耐	2.6%	6	知	2.5%	6	縁	2.3%	6	学	2.7%
7	縁	2.1%	6	疲	2.6%	7	笑	2.3%	7	笑	2.0%	7	知	2.3%
7	知	2.1%	8	縁	2.4%	7	悩	2.3%	8	己	1.7%	8	忍	2.2%
7	悩	2.1%	8	難	2.4%	9	考	2.2%	9	知	1.6%	8	縁	2.2%
10	耐	1.9%	10	知	2.0%	9	忍	2.2%	9	素	1.6%	10	難	1.9%
10	疲	1.9%												

04卒(2003年)			03卒(2002年)			02卒(2001年)			01卒(2000年)		
1	迷	5.8%	1	苦	5.4%	1	苦	6.4%	1	苦	5.8%
2	楽	4.4%	2	縁	3.9%	2	耐	5.1%	2	忍	5.3%
3	苦	3.3%	3	耐	3.6%	3	忍	4.7%	3	縁	4.8%
4	動	2.9%	4	忍	3.5%	4	学	4.4%	4	耐	4.5%
5	耐	2.7%	5	楽	3.3%	5	縁	4.3%	5	運	4.3%
5	学	2.7%	6	運	3.0%	6	楽	4.0%	6	楽	3.6%
7	疲	2.6%	7	難	2.9%	7	己	3.9%	7	己	3.3%
8	悩	2.2%	8	学	2.6%	8	運	2.3%	8	学	2.8%
8	忍	2.2%	9	己	2.5%	9	人	1.7%	9	気	1.7%
10	縁	2.1%	10	人	2.3%	10	難	1.6%	10	疲	1.6%
10	運	2.1%	10	信	2.3%						

1位 苦

大学	学部	学科	理由
立命館大学	文学部	東洋史専攻	去年まで好況で、今年はラクに就職活動ができると思ったところで、一気に不景気になり、いきたった企業の多くが、定員を減らしたので。
国土館大学	法学部	法律学科	リーマンの破たんまで就職できるか不安であったが、それでもあきらめずに活動を続けたことで就職できたから。
福岡大学	経済学部	経済学科	やはり半年以上活動してきて、なかなか先が見えず、将来の不安があって苦しみ悩んだから。
神戸大学	経営学部	経営学科	長期間に渡る就職活動は金銭的、肉体的、精神的にも辛いものがあった。
静岡県立大学	国際関係学部	国際関係学科	とにかく苦しみ抜いた半年間でした。筆記・ESは案に突破できるものの、面接では1次で落ち続ける日々…自分の人間性を否定されているようで精神的にかなり参ってボロボロになりました。それでもとてもよい会社に内定をいただき、その苦勞が報われてよかったです。あの苦勞があったからこそ、内定をもらえることができたし、今後の人生にも活かされると思います。
国際基督教大学	-	社会学	世界的に経済状況も思わしくなく、就職の窓口も狭まり、学業との両立が苦しかったけれども、苦しんだからこそ、喜びも大きかった。しかし、内々定をもらうのが遅く、時間の無駄とも感じた。
明治薬科大学	-	薬学専攻	修士論文の研究と就職活動の両立ははっきりいってかなりしんどかった。
東京農業大学	国際食料情報学部	食料環境経済学科	最終面接で何度も落ちて、終了しようと思っていた時期にもまだ就職活動を続けていたので。
中央大学	文学部	-	就活は苦行だと感じているから。手ごたえを感じても内定に至らず苦しいから。
日本女子大学	家政学部	食物学科	本当に自分を必要としてくれる企業があるのかと、ずっと落ち続けていた時大変苦しかったから。

2位 迷

大学	学部	学科	理由
立命館大学	産業社会学部	現代社会学系	最初から最後まで経済、受験企業に引きずられ、迷い続ける就職活動であったと感じた。
帝塚山学院大学	人間文化学部	人間学科	自分自身を分析すればするほど、ますます、みえなくなる。自分のやりたいことが見つからない難しさ。提供される就活情報の正確性。どこを行ってもずっと迷子でいる気がしたので。
東洋大学	文学部	教育学科	戸惑い迷うことが沢山あったから。迷路の中を歩き回っているようでした。1つ先に進めたとと思ったら、行き止まり。また歩いて進んでは、行き止まり、の繰り返し。また、経済状況の影響で、周りから「大変な年ですね」とか「安定した企業を選びましょう」と言われ、さらに迷いました。自分の人生について考え、沢山迷った就活なので、「迷」です。
福岡女子大学	-	環境理学	なんで内定がもらえないのか、自分は社会に出ても価値のない人間と思われるのではないかと、どうすればこの状況を打開できるのか。採用試験のたびに一喜一憂して、内定にたどり着けないような、でもがんばらなさいといけなそう思うような、そんな迷い道のなかをとおっていた気分がするから。
関西大学	経済学部	経済学科	企業を知れば知るほど、自分がどんな仕事がしたいのかわからなくて、迷ってしまったから。

3位 楽

大学	学部	学科	理由
大阪大学	法学部	法学科	「らく」ではなく「楽しむ」です。楽しみ・興味を持って取り組んだ者が勝つ、それが就職活動です。他の事にも当てはまるかもしれませんが。
新潟国際情報大学	情報文化学部	情報文化学科	周りは今年は苦しいとかしきりに言っていたが、結局のところそれは本人次第であり、その気になれば楽とは言い切れないが大して苦しいものではなかった。また、色々な企業を回ることで色々な経験が出来たし、多くの人に出会えた。そういった点は「楽」しいものであったので、「楽」とした。
慶應義塾大学	商学部	商学科	“らく”ではなく、“たのしい”です。これだけ色々な人と出会えて、成長出来る機会は無いです。
早稲田大学	政治経済学部	国際政治経済学科	単純に、多くの人と話をし、真剣に将来のことを考え、自分の努力が何らかの形で結果として表れるという環境を非常に楽しむことができたと思う。そして、楽しんでやっていたからこそ、いかなる苦境にあっても決して辛いとは思わなかったため、むしろ他の人よりも楽(らく)をすることができたように思う。
東京大学	理学系研究科	生物化学専攻	人との出会いを楽しむ。自分の軸を持ち、後は、運任せ。

4位 難

大学	学部	学科	理由
神戸大学	経済学部	-	自分の就職活動が想像以上に難航してしまい非常に苦勞したため。
宇都宮大学	-	物質環境化学専攻	なかなか思うように就職活動がいかず、大変だったため。多くの困難に立ち向かいながら、大きく成長できたと思う。
島根大学	-	生物生命科学専攻	今年度はちょうど不況の時期に入ってしまった、就職口がぐっと減っていたから。また、新型インフルエンザの流行もあり、説明会が中止されたりと不運なことが重なっていた。
杏林大学	保健学部	保健学科	就活は難しいとは思っていましたが、こんなにも苦勞するとは思いませんでした。
千葉科学大学	危機管理学部	環境安全システム学科	就職活動は、簡単ではなく大変であったため、難しいという意味で。

5位 縁

大学	学部	学科	理由
関西学院大学	総合政策学部	メディア情報学科	出会ったすべての企業、人と縁があったと感じるし、最終的に想像していた業界と違うところが本命になり、内定をいただけたのもすべて、縁だと思うから。
慶應義塾大学	理工学部	機械工学科	散々一次、二次面接で落ち続けましたが、何故か最初から第一志望だった会社には、最後の最後で内定を頂くことができました。これも“縁”があったからだと思います。やはり、面接官の方々はプロですから、少しでも本気でなかった会社ではそれが見抜かれたのだと思います。
明治大学	農	農学専攻	自分が知っている企業なんてほんの一部であり、何かのきっかけで自分にとって忘れられない企業との出会いがある。また、内定が出る出ないは本当に縁だと思う。
早稲田大学	国際教養学部	国際教養学科	どんなに強く志望していても、落ちてしまった企業もたくさんありました。しかし、こうして本当に行きたいと思えた企業から内定をいただくことができ、このご縁に感謝しています。
名古屋大学	生命農学研究科	応用分子生命科学専攻	企業との縁、先輩との縁、ほかの学生との縁。いろんな縁があって、活動を終えることができました。

6位 動

大学	学部	学科	理由
日本大学	法	経営法	就職活動は自分から動かなければ始まらないからです。
福岡大学	工学部	電気工学科	就職活動はわからないことばかりだが、自分が動かないと何も始まらない。動くことで新しい何かが見えてくるし、道も広がると思う。まずは足を動かしてACTIONしてください。
鹿児島大学	法文学部	法政策学科	田舎に住んでいるので、説明会などでとにかく動き回った！
鳥取大学	農学部	生物資源環境学科	動くことです。就職活動は自ら積極的に動いていかないと自分に縁のある会社にはめぐりあえないと思います。私も、この就職活動では、今まで一番に行動したと思っています。
首都大学東京	理工学研究科	機械工学専攻	面接最中でも落選した際でも、黙らず立ち止まらずに進んでいたから。

7位 悩

大学	学部	学科	理由
筑波大学	-	社会システム工学専攻	たくさんのことを考え、悩んだ。悩んで考えたこと、そしてたくさんのお出会いで、いろいろ成長できたと思う。
広島大学	-	分子生命機能科学専攻	自分自身を見つめなおすよい機会であるが、自分を知ることの難しさ、相手へ意思を伝えることの難しさでたくさん悩むことで成長していったと思ったから。
京都大学	医学研究科	医学専攻	内定がとれるまでは、何が自分に足りないのか、何がだめだったのかについて非常に悩んだ。内定を複数受けてからは、どこが自分の将来にもっとも適合しているのかについて悩んだ。この何度も自問自答をして悩んだ就職活動であったため、これを選択した。
金城学院大学	文学部	日本語日本文化学科	内定が簡単に貰える状態じゃなく、手当たり次第で受けた結果、一つは内定を貰えた。しかし、他にも選考途中同士でどちらかを辞退しなくてはならなかったりと、とりあえず悩む事ばかりだった。
京都薬科大学	薬	薬学専攻	自分自身について悩み、就職について悩み、企業について悩み、不安でいっぱい就職活動であった。悩みを友人や家族や教授に相談することで進めることができ、人よりもよく考え悩んだことで満足する結果が得られた。

8位 耐

大学	学部	学科	理由
早稲田大学	政治経済学部	政治学科	とにかくあきらめず、耐えることが大事だと感じたから。
静岡大学	情報学部	情報社会学科	忍耐の「耐」です。内定を受けた時期が遅かったため、焦ることはありましたが、あきらめずに続けていたら何とか興味のある企業から内定をもらえることができてよかったです。
関西大学	商学部	商学科	就職活動が厳しく、いろんなことに耐えなければならなかったから。
北海学園大学	経営学部	経営学科	採用試験で何社か落ちる事は当たり前なので、それにめげず悲しみに耐える事が非常に大切だと感じたから。
岡山大学	理学部	自然科学研究科 分子科学専攻	様々な企業の人に色々なことを言われたり、移動で一日6時間かかったりつらいことも多いが、気持ちをしっかり持って耐えていれば、いい結果が得られるのではないかなと思う。

9位 疲

大学	学部	学科	理由
岐阜大学	-	資源生命科学専攻	肉体的にも精神的にも疲れ切ったから。
三重大学	人文学部	社会科学科	本当に疲れた。今までのクラブ活動、課外活動、高校受験、大学受験などで大きな挫折や失敗は経験しなかったから、就活が今までで一番精神的に疲れる期間だった。
福岡大学	人文学部	歴史学科	精神的にも体力的にも想像を絶するほど疲れるし、ストレスがたまるから。
千葉大学	工学部	情報画像工学科	プレッシャーに疲れしました。
京都大学	-	農学専攻	エントリーシートや面接の対策に多くの体力と精神力を削られた。先の見えない戦いだったから。

10位 変

大学	学部	学科	理由
中央大学	法学部	法律学科	価値観が変化していったため。有名企業でバリバリ働きたい→私生活を大事にしたい。
愛媛大学	農学部	農学研究科 生物環境保全	就職活動を通して、企業への見方、考え方が変わったから。そこまで志望が高くなかった企業の志望度がかなり上がったし、逆に志望が高かった企業の志望度が下がった。
九州大学	農学部	生物資源環境学科 農芸化学分野	第1に自分の同級生に比べて変わった進路を選択したから。第2に状況に応じて就活のスケジュールをこなしていけたと考えているから。
大阪大学	工学部	電子情報工学科	就職活動中、希望職種や業界がコロナ変わっていったので「変」です。変わっていく中で、これでもない、あれでもない、何度も自分を見つめて、やっと自分に合った職種にたどり着いた気がします。
関東学院大学	工学部	情報ネット メディア工学科	初めて面接を受けたときは、一問一答のような感じになっていたが、慣れていくうちに、自分を伝えられるようになった。

少数回答

1票のみの回答で、ユニークなものを抜粋

漢字	大学	学部	学科	理由
谷	神奈川工科大学	創造工学部	ロボット・メカトロニクス	いつまで経っても底につかない。底についてもこれからが本番
鉄	和歌山大学	-	システム工学専攻	ほぼ、鉄道に関係する企業ばかりを回ったから。それ以外の企業にも多数エントリーしたが、自分自身の学業との兼ね合いもあり、志望順位の高い企業を優先的に回った結果そうだった。
減	岡山理科大学	理学	生物化学専攻	今年は色々マイナスなことが多かったのだ。
協	大阪府立大学	-	物質・化学系	親、友達、就職活動を通じてできた友達、先輩、いろんな人に支えられている中で自分を発見できた就職活動だったと思ったから。
敗	佐賀大学	-	生産生物学科	自分に負けた。
数	星薬科大学	-	薬学専攻	『数うちゃあたる』で受けてきました。就職活動の方法は人それぞれですが、私は多くの業界をうけて、その中で内定をいただいたので、本当に自分に合った会社に巡り合えた、より感じる事ができた気がします。
懸	一橋大学	経済学部	経済学科	何もかも懸けた。必死だった。
礎	早稲田大学	-	-	自分の基礎を見直し続けたから。
脱	東京工業大学	理工学研究科	集積システム専攻	今までの自分を脱ぎ捨て新たな道を生きるから。
安	静岡県立大学	-	製薬学専攻	安定したところで安全な仕事がしたいからです。
出	新潟大学	-	自然科学研究科	地元から出発して、外に出て、多くのこと、人に出会えたから。
途	大阪大学	工学研究科	工学研究科	就職活動は目的でなく、あくまで社会に出るための過程・手段にすぎないから、途中の「途」としました。現状に満足せず、まだまだやりたいことやります。
化	名古屋大学	文学部	-	狸の化かしあいであると思ったから。お互い本音本心を語らず、化かしあうから。
忠	大阪教育大学	教育学部	教養学科	嘘やうわべだけで自分を表現するよりも、ありのままの自分を忠実にさらけ出していく方が、より自分のためになると思ったからです。